

平成 17 年 10 月 31 日

各 位

株式会社 埼玉りそな銀行

埼玉りそな銀行と（独）中小企業基盤整備機構との業務連携・協力に関する覚書の締結について

りそなグループの埼玉りそな銀行（社長 利根 忠博）と独立行政法人中小企業基盤整備機構関東支部（支部長 矢口 富夫）は、地域経済の活性化と中小企業支援の促進を図るために「業務連携・協力に関する覚書」を平成 17 年 10 月 31 日付で締結いたしました。

本覚書により、埼玉りそな銀行と中小企業基盤整備機構は、地域における中小企業への支援、ベンチャー企業の育成、中小企業の再生、その他中小企業に役立つ情報交換などの面で連携を密にすることで、県内中小企業の様々なニーズに対し、相互に協力して連携を行ってまいります。

今般の覚書締結は、本年 4 月に施行された「中小企業の新たな事業活動の促進に関する法律（中小企業新事業活動促進法）」に関わる「異分野連携新事業分野開拓」通称：「新連携事業」において支援金融機関として同計画の認定取得に対し積極的に取り組んでいる金融機関として、締結に至ったものです。

今回の業務連携により、当社では同機構がこれまで手がけてきたベンチャー企業の育成や中小企業等の経営課題等に関する専門家による相談事業などのノウハウを活用でき、一方、中小企業基盤整備機構は、地域金融機関と連携することで主に新連携案件の発掘、紹介や相談関与企業数などの拡大を図り、より実効性の高い、継続した支援をすることで、地域経済の活性化に寄与できるものと考えます。

本連携のうちベンチャー企業や新事業展開企業への支援に関わるものについては当社「新事業支援室」が、企業再生支援に関わるものについては当社「経営支援室」が中心となり、積極的な連携を図ってまいります。

本連携は当社が平成 17 年 8 月に発表いたしました「地域密着型金融推進計画」の「創業・新事業支援機能等の強化」「取引先企業に対する経営相談・支援機能の強化」「事業再生に向けた積極的取組み」にも対応するものです。

埼玉りそな銀行は、今後とも「現場主義」「お客さま第一主義」を基本に、埼玉県経済の活性化に積極的に取り組むとともに、地域に密着した信頼されるパートナーとして、埼玉県の皆さまとともに発展することを目指してまいります。

中小企業新事業活動促進法における新連携とは

平成 17 年 4 月に施行された中小企業事業活動促進法により、中小企業の異分野連携を促進するための施策として「異分野連携新事業分野開拓（通称：新連携）」を新設。

「新連携」とは、「その行う事業の分野を異にする事業者が有機的に連携し、その経営資源を有効に組み合わせ、新事業を行うことにより、新たな事業分野の開拓を図ること」と定義されている。

平成 17 年 9 月 29 日に新たに 13 件の「新連携」の認定がなされ、これに関東経済産業局管内の認定件数は 28 件。埼玉県においては、（株）ジェイネット（越谷市 代表取締役社長 長谷川 浩幸）が「オンマシンの超微細加工ツール測定装置の開発と販売」の事業テーマで県内 2 社目となる認定を受けており、当社はこの新連携の支援金融機関となっております。

以上

<参考別紙>

(業務連携の主な内容)

互いに連絡会を開催するなどの方法により、次の事項について協議、情報交換などを行う。

- (1) 中小企業新事業活動促進法における新連携支援に関する情報交換
 想定される連携事例
 - ・新連携を目指す企業等の発掘、認定取得へのサポート
 - ・連携を希望する異業種企業の検索とマッチング
- (2) 業務連携に係る具体的な方策に関する協議
 想定される連携事例
 - ・企業成長のための課題検討と具体的支援策の協議
 - ・中小機構が実施している中小企業・ベンチャー総合支援センター等各種支援機能の活用
 - ・販路開拓、金融、技術面等の支援ニーズのある企業についての情報交換
- (3) 地域内における経済情報・事業活動動向などに関する情報交換
 想定される連携事例
 - ・県内経済や具体的成功事例などについて相互に情報交換を行い、ベンチャー企業の育成や中小企業の再生等について情報交換の実施
- (4) その他業務連携・協力に係る必要事項
 想定される連携事例
 - ・今後の相互連携活動の中で生じた諸問題について個別に協議を行い、連携体制の実効性を高める

<平成17年9月29日付 関東経済産業局プレス資料からの抜粋>

事業テーマ【コア企業】	連携体の特徴 事業の特徴 支援金融機関
<p>オンマシンタイプの超微細加工ツール測定装置の開発と販売</p> <p>【株】ジェイネット (埼玉県越谷市)</p>	<p>ピクセルセンサ画像処理技術を持つコア企業と高速画像処理技術を持つ企業及び製品製造を行う企業等との連携。</p> <p>高集積半導体や自動車用製造の分野で急拡大している量産微細加工技術に必須となるツールのオンマシーン測定装置の開発。CCDカメラとパソコン画像処理技術で、加工ツールの先端位置をサブミクロンレベルで測定。精密加工機械メーカー、自動車部品メーカーに販売。</p> <p>埼玉りそな銀行</p>

以上